
記事

[Tomoko Furuzono](#) · 2021年12月7日 2m read

メッセージ・ログ(messages.log) / コンソール・ログ(cconsole.log) に出力される「Skipping SET(KILL) global ^xxxx during transaction rollback...」のメッセージとは

これは、[InterSystems FAQサイト](#)の記事です。

このメッセージが出力される要因は以下の2つになります。

1. 同じデータに対して適切に排他を行わずに、別々のプロセスから更新が行われている
2. ロールバックが発生している

詳細は以下の通りです。メッセージログ/コンソールログに、以下のようなメッセージがある場合、これはロールバック処理にて出力されています。

バージョンによってメッセージは多少異なります。

Skipping SET due to compare and swap failed on ...

Skipping KILL due to compare and swap failed on ...

Skipping Set global ^xxx during transaction rollback (transaction may not have been properly locked) in journal ...

Skipping KILL as node ^xxx exists in ...

Skipped rolling back x update(s) in ...

Total 1 update(s) were skipped during rollback of transaction beginning at address ...

以下の例のように、ロールバック処理で、更新したグローバル変数の値を元の値に戻す際に、別のプロセスにより、そのグローバルが既に更新されてしまった場合に出力されます。

* プロセスA

USER>W ^TEMP

1 -> 更新処理前の値

USER>TS

TL1:USER>s ^TEMP=2 -> ジャーナルファイルにnew value =2, old value =1と記録される

* プロセスB

USER>TS

TL1:USER>S ^TEMP=3 -> 別プロセスより更新

TL1:USER>TC

USER>

* プロセスA

TL1:USER>TRO -> ロールバック

USER>w ^TEMP

3 -> 値は、ロールバックでプロセスAが更新をする前の値の 1 には戻っていない

ここで、ロールバックの実行にて、ジャーナルファイルの記録よりold value
の1に戻そうとしたが、値が別プロセスにより変更されていた為、ロールバックにより値を戻すのをskipします。
その際、コンソールに以下のようなメッセージが出力されます。
Skipping Set global ^["^c: \intersystems\cache\mgr\user/]TEMP during transaction rollback
(transaction may not have been properly locked) in journal c: \intersystems\cache\mgr\journal\20130122.001
location 159100

[#システム管理](#) [#Caché](#) [#Ensemble](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/%E3%83%A1%E3%83%83%E3%82%BB%E3%83%BC%E3%82%B8%E3%83%BB%E3%83%AD%E3%82%B0messageslog%E3%82%BC%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%82%BD%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%BB%E3%83%AD%E3%82%B0cconsolelog-%E3%81%AB%E5%87%BA%E5%8A%9B%E3%81%95%E3%82%8C%E3%82%8B%E3%80%8Cskipping-setkill-global-xxxx-during-transaction>